

資料 2

アグリイノベーション大学校

株式会社マイファーム

西辻一真





運営会社／株式会社マイファーム

【社名】 株式会社マイファーム（英名：MYFARM Inc.）

【創業】 2007年9月26日

【資本金】 3億2200万円 資本準備金2億8950万円

【主要取引銀行】

三井住友銀行、滋賀銀行、京都信用金庫、京都銀行、日本政策金融公庫

【京都オフィス（本社）】 京都府京都市下京区朱雀正会町1番1号KYOCA会館3階

【東京オフィス】 東京都港区三田二丁目14番5号フロイントウ三田508号室

【名古屋オフィス】 愛知県名古屋市中区栄1丁目23-2 第2昭和ビル 601号室

【中国法人】 上海吾亦農業発展有限公司

【社員数】 社員59名 アルバイト143名（子会社・関連会社含む／2019年1月末）

【役員】

代表取締役 西辻 一真（アグリイノベーション大学校 初代学長）

取締役副社長 谷 則男（アグリイノベーション大学校 講師）

専務取締役 浪越 隆雅（アグリイノベーション大学校 講師）

取締役 佐伯浩二

執行役員 石原 北斗（アグリイノベーション大学校 学長）

【受賞歴】

2017年1月 平成28年度・総務省「ふるさとづくり大賞」総務大臣賞 受賞

2013年7月 日本河川協会・第15回 日本水大賞グランプリ 受賞

2010年1月 環境省・総務省等主催 eco japan cup2009

ビジネス部門大賞 受賞



マイファームの農業ソリューションサービス

人と自然の距離が近づく
マイファームの事業循環





農業ベンチャーではなく、社会づくりベンチャーです

私たちが考える「自産自消ができる社会」

自然と触れる楽しさ・面白さ

自然と共に生き、それを仕事にすることの素晴らしさ

その産物を自然まるごと食べ、

自然について会話し、感謝すること

人が作物を育てるように、人も自然に育てられていること



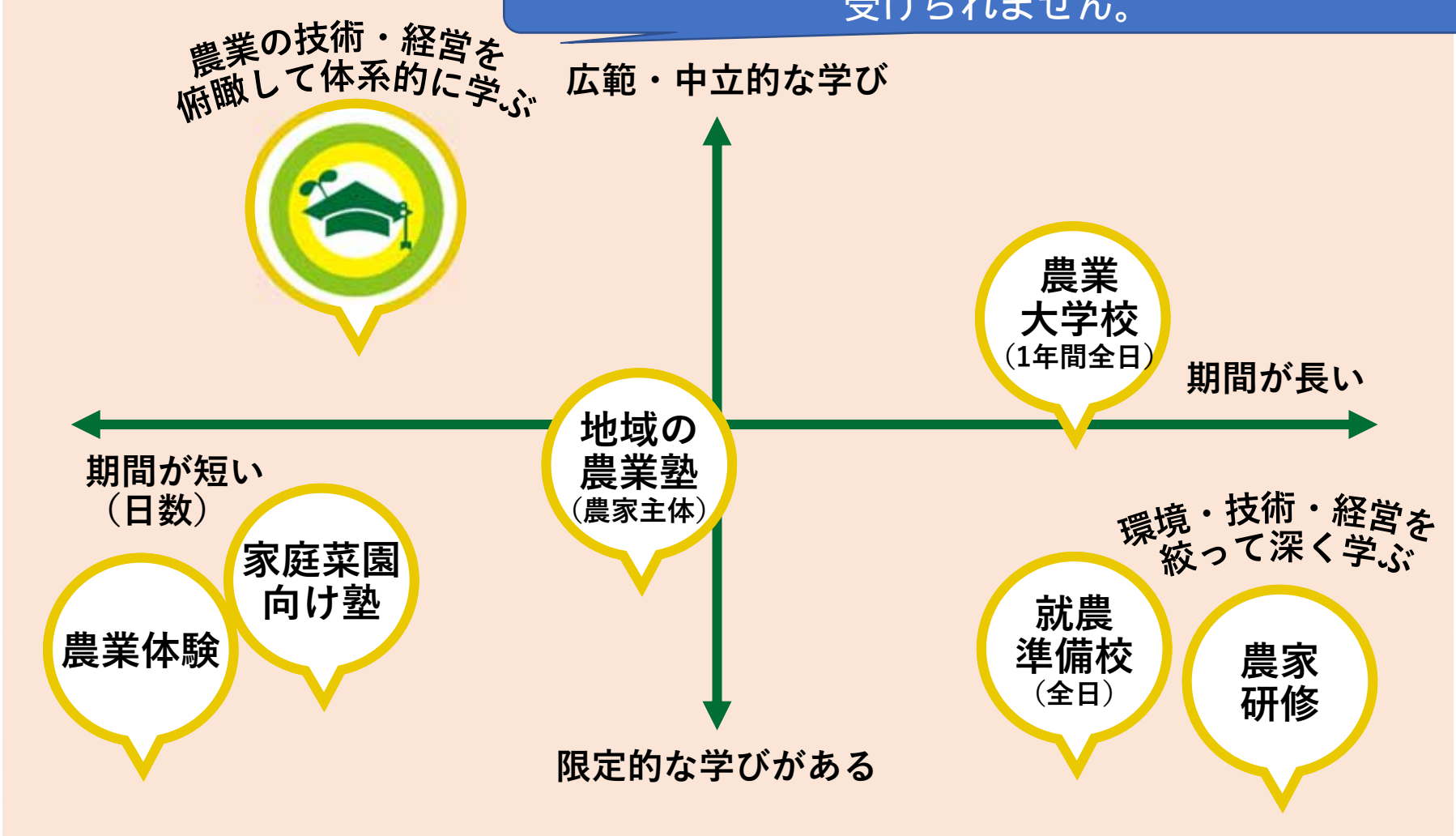
人と農をつなぐ会社





「農」を学ぶ場所について

勉強時間が足りないため次世代人材育成投資資金は受けられません。





卒業後は、多様で、自分らしい農との関わり方

現場経験がないから、ということで
認定新規就農者になれず公庫が使いません。



独立就農（地元）

温浴施設で働いていた際に、地域密着で何かできないかということテーマに頑張ってきましたが、最終的に地域の元気の源には、農業が一番ではないかと考えるようになり、この業界に飛び込みました。今は、ミニトマト、ナス、にんにくを中心に頑張っています。家族との時間、地域の方々とのコミュニケーションがすごく充実し、毎日楽しく過ごせるようになりました。

園中 秀樹（くになか・ひでき）

いろどりふぁーむ 代表（和歌山県）

和歌山県出身。大学卒業後、約20年間のサラリーマン（不動産業・サービス業）生活を辞めて、2017年より新規就農者として農業を開始。



親元就農

農家の5代目を継ぎましたが、農業技術や販売方法を習得するためにAICに入学しました。宮崎から単身で京都に引っ越し、1年間で生産技術、販売を含む経営知識、たくさんの仲間を得ました。卒業後は宮崎に戻り、慣行栽培の畑の一部を有機栽培に切り替え、新たな屋号「みさき農園」を看板に挑戦を始めました。

中武 海咲（なかつたけ・みさき）

みさき農園（宮崎県）

AIC関西4期卒業生。慣行農業が盛んな地域で実家の農業を継ぐにあたり、有機農業に挑戦。AIC受講時代に学んだ八百屋での経験も含め、リターン後農家カフェをOPEN。地元を盛り上げる旗振り役として、伝統的な技術継承から若い世代とのワークショップの開催まで幅広く活動する。



ライフスタイルに活かす農業スタイル

下限面積に満たないため、農地賃借が無理です。
大阪府のような準農家制度を国単位で導入希望します。



「ただ、おいしい野菜を上手に作りたい」という一心でAICに入学しました。入学後の授業で「慣行農法と有機農法があること」「無農薬と農薬を使用することの違い」「化学肥料と有機肥料の違い」「農業資材や農機具の使い方」などを学ぶことで、奥深い世界だと痛感しました。それだけでも十分な価値がありますが、プロの農家を目指す方、アグリビジネスの起業を考えている方、農業を本気でやっている准農家の方など、熱く長くお付き合いできる仲間をこの年齢になって得られた事は、非常にありがたいと思っています。

池田 和夫 (いけだ・かずお)

会社員(神奈川県)

30年以上、IT業界でエンジニアを務めている。趣味で始めた農園をきっかけに技術をつけたくてAICへ入学。有機農業に目覚めて現在も勉強中。

畑でレストランというイベントをしたが
衛生面と農地転用の面で難しかったです。



都市農業の可能性を信じて。

農業をやっているとお客様の声が多々聞くことができ、応援されることしかない。板橋のこんな近くで新鮮な野菜が食べられるという喜びの声しかない。去年1年間、週末をつかい、都市農業という形で野菜をつくり近所の方に販売してきた。誰も手をつけていない領域、都市農業のポテンシャルを感じた。ただ、栽培して販売するだけでなく、こどもたちの体験と学びの場、近隣飲食店との連携などの可能性を感じた。自分の時間の使い方は間違っていると思い、週末農業から平日農業に転換しようと決意。今年がチャレンジの年になる。

富永 悠 (とみなが・ゆう)

会社員から農家へ(東京都)

大手メーカーでマーケティングに従事。夫人の実家である東京都板橋区に約3反の農地があり、都市農業の場としての活用を模索していた折、知人の紹介でマイファーム・西社氏に出会う。野菜が作れないことは始まらないためAICへ入学。卒業後、週末ファーマー&平日会社員というスタイルを1年続け、周囲の応援と自分自身のワクワクを感じ、農業メインの生き方へシフトチェンジする予定。



キャリアを活かす農業 農業×異業種

社内起業

農業を学び、新しい雇用を創出する。

もともと定年後を見据えた新規就農を考えていましたが、知的・発達障がい者の息子さんを持つ会社の同意から農業は障がい者雇用と相性がいいと聞いて「これだ!」と確信しました。AICでは、ゼミも含めて幅広い学びがあり、熱心な講師陣や多様な同期生とのやりとりの中で自分の方向性を明確にすることができます。その結果として、会社に提案したプランを実行するための人事発令を得ることができました。

鈴木 崇之 (すずき たかゆき)

個人株式会社 人事課 (障がい者雇用担当)

神奈川県出身。46歳。サラリーマン家庭に生まれる。大学卒業後、製菓メーカー/医療機器メーカーに勤務し、組織活性化、新規事業企画、経営企画などに従事。本年5月より障がい者雇用も担当し、「農業×障がい者」をテーマに企画・実行することとなった。「農」への関わりは、3年ほど前から。マンション自治会メンバーとして50坪の家菜菜園を二人の子どもたちと一緒に耕すようになってから。

農地の所有をしなかったが
できず、長期賃借ではじめることになりました。



Case_3

キャリアアップ

ITと農業の親和性を見極める。

IT業界から農業界に挑戦する方は多いですが、難しさもあるように感じます。理由のひとつは、農業界の実態を知らずに参入してしまうこと。私は、受講期間中に多くの講師や自然に触れ、理解度が高まるにつれ、新しい発見が連続していきました。「農業のどこにITが使えるのか」「どこにITが入ると良いのか」を漠然と感じられ、生産者視点で物事を考えられるようになったのです。何より嬉しかったのは生産者との会話が弾み、共感を得られるようになったことですね。

岩崎 登 (いわさき たける)

株式会社ソフトバンク・テクノロジー

AIC関東7期卒業生。マイファームとソフトバンク・テクノロジーとの合併会社「リデン」の創業時にマイファームへも参画。農地紹介の窓口サービスの開発や、インターネット上のセリ市場「ラクザ」などIT×農業を中心に農業界に革命を起こしている。

スマート農業に関する規制緩和(ドローンなど)
を求めます。

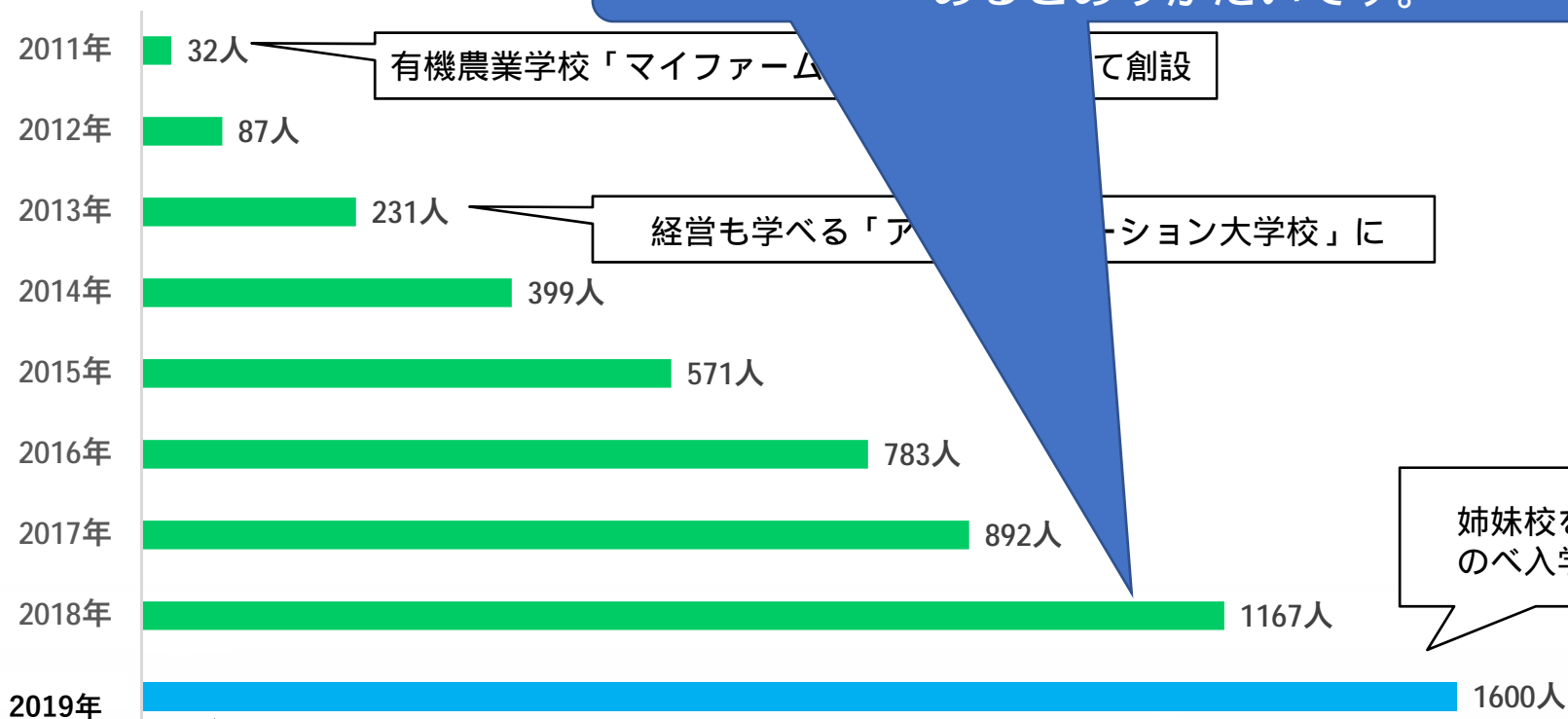




アグリイノベーション大学校 沿革

2011年の設立以来、毎年多くの入学生を迎えています。姉妹校を含む累計入
学数は1,600名を超え、全国へ卒業生を輩出しています。

入学者数推移（累計）



既存生産者の学び直しに関する補助制度が
あるとありがたいです。

有機農業学校「マイファーム」にて創設

経営も学べる「アグリイノベーション大学校」に

姉妹校を含む
のべ入学者数

姉妹校には、丹波市立「農の学校」、大阪新規就農村「はじめての一步村」、奈良県「奈良食のづくり手経営塾」、千葉県「ちばアグリトップランナー経営塾」が含まれます。



アグリーノベーション大学校が提供するもの

アグリーノベーション大学校では、農業を始めるにあたって必要な「技術力・経営力・仲間」を得ることのできるカリキュラムを提供しています。

技術力

農業には「原理原則」があります。
「野菜のつくり方」ではなく、現場で生きる「技術力」を身に付ける、独自のカリキュラムを開発。

経営力

「農業」を取り巻く環境は、刻々と変化しています。
業界に飛び込む前に、過去の歴史を知り、トップランナーや専門家から、農業経営のツボを学びましょう。

仲間

志を同じくする仲間たちが、全国各地で活躍しています。
一生モノのネットワークを、この学校で。



技術力

農業には「原理原則」があります。
「野菜のつくり方」ではなく、現場で生きる「技術力」
を身に付ける、独自のカリキュラムを開発。



農業の技術は、科学的な根拠により
理解・習得することが可能です。
学校の実習農場では、
有機農業の栽培方法によって
農業技術を学びます。
それは、畑で起こっていることを
知るためには、有機農業の現場で
論理と実践を繰り返すことが
自然の深い理解につながるからで
す。



何を学べるか／農業技術カリキュラム

技術 座学

- ・栽培学原論
- ・土壌学
土の基礎知識
土壌微生物、緑肥
- ・植物栄養学
- ・植物保護学

- ・肥料学
肥料分類と性質
発酵肥料と施肥技術
- ・植物生理学
物質循環と光合成
植物の構造と役割

- ・農業機械
- ・農業資材
農薬、肥料、被覆資材
- ・ポストハーベスト
収穫後管理と出荷準備
- ・作物の繁殖と育種
品種、種苗法、接木

技術 実習

- ・土作りの方法
- ・施肥と耕運
- ・作物の播種、植付
- ・春夏野菜 栽培管理
- ・秋冬野菜 栽培管理

- ・育苗管理
- ・有機物の活用
- ・発酵肥料の活用
- ・害虫、病気の対策
- ・緑肥の活用

- ・収穫と出荷調整
- ・流通販売の実践
- ・農業機械講習
- ・土壌改良について
- ・作付計画

有機農業の現場で論理と実践を繰り返す



経営力

「農業」を取り巻く環境は、刻々と変化しています。業界に飛び込む前に、過去の歴史を知り、トップランナーや専門家から、農業経営のツボを学びましょう。

農業経営のスタートは、まず業界についての基礎的な理解を得ることから。

作物ごとの特徴や性質、販路の選び方、農地や資金をどう取得するかなど、事業の骨子を「考える力」を身に付けることが第一歩です。

多くのトップランナーと呼ばれる農業経営者と出会い、

彼らの考え方に触れることで、将来へのビジョンを固めていきます。





何を学べるか／農業経営カリキュラム

農業経営の基礎

- ・ 営農計画
（生産・販売）
- ・ 経営モデル、
経営資源
- ・ 農地法、関連制度

販売流通・マーケ

- ・ 農産物流通販売
- ・ 販売チャネル
- ・ マーケティング
ブランディング
- ・ 多角化

先端的経営

- ・ 農業ICT
- ・ データ活用
- ・ 関連ビジネス
（農福連携等）

専門
知識

VISION

農業経営のトップランナーに学ぶ



仲間

志を同じくする仲間たちが、全国で活躍しています。
一生モノのネットワークを、この学校で。





NEW
1

アグリイノベーション総合コース（オンライン受講＋実習[通学]）

応募〆切：～2020年2月29日まで

週末のみの受講で、農業の「技術」と「経営」を体系的に学ぶコース。
「農」を仕事にし、地域農業経営の視点を養う総合コース。
技術と経営を体系的に幅広く学びたい方向けです。

受講期間 2020年3月～2021年2月（約1年）
定員 50名
費用 入学金 33,000円（税抜 30,000円）
受講料 613,800円（税抜 558,000円）
別途費用テキスト購入費 3,300円（税抜3,000円）

カリキュラム

- 座学 農業技術 18 コマ／36 時間 オンライン受講
- 座学 農業経営 18コマ／ 36 時間 オンライン受講
- 実地 農場実習 22コマ／ 66 時間 現地実習
- うち2コマは現地実習 現地実習
- 座学 特別講演 2コマ／4時間 現地 or オンライン

※その他農業技術検定を受験される方は別途受験料が 3,290円が必要



実習講義は、現場の畑で学びます。



座学はオンラインで学びます。
ライブ配信または録画画像で視聴可。



実習圃場紹介（京）

認定農業者（全国区）の取得が
地域ごとに必要で煩雑な手続きになっています。

京都農場（京都府城陽市寺田南堤下20）

■アクセス：近鉄「寺田駅」から徒歩20分。駐車スペースあり





実習圃場紹介（京都）



■やなもり農園 代表・梁守壮太講師

こだわり抜いた野菜の味を消費者に理解してもらうため、各野菜に合わせた肥料施工や輪作による土作りなど、既成の農業の枠を飛び越え梁守農法を駆使し、野菜の本当のうま味を引き出す研究と野菜作りに取り組む。現在は、店舗プロデュースや農業講師、ディベロッパーと組んで屋上緑化のプロジェクトにも参加するなど、多岐にわたって活躍中。生産者のみに留まらず、独自のポジションを築く。

■講師：関西の食業界では『伝説の生産者』とも呼ばれ、梁守講師の作る野菜は、名だたるホテル・レストランのシェフ達から引っ張りだこ。基本の栽培技術の学びを軸に梁守講師の創意工夫ある栽培ノウハウを直接聞くことができます。

■圃場：2016年に新設した圃場なので、土壌改良の過程を体感することができます。また、ハウスを4種設置しており、ハウスの特性に沿った栽培方法を学ぶことができます。



実習圃場紹介（大阪）

大阪農場（大阪府富田林市須賀地区）

■アクセス：南海電鉄南海高野線「滝谷駅」より徒歩5分。





実習圃場紹介（大阪）



■木村俊太講師（岐阜県恵那市・たねまき農園）

横浜生まれ、横浜育ち。

東京農業大学卒業を機に、2005年岐阜県恵那市にて新規就農し、たねまき農園を立ち上げる。

桑の木が生い茂り荒れ果てた土地を一から開墾しスタートした。地域で手に入る有機物のみ使った循環型農業を実践している。現在は、3haで野菜、お米、ブルーベリーの栽培をしている。

農家らしくない農家をモットーに日々精進している。



■元・徳島県上勝町有機農業研究会会長・藤田正講師

1942年横浜市生まれ。海上自衛隊勤務の後、総合商社にて油田開発に携わったのち、50歳の時に油田関連のベンチャー企業を立ち上げる。2006年から葉っぱビジネスで有名な上勝町で農業を始める。

儲かるための農業を実践するため若者の農業指導や研究会などを開催。現在2町5反で野菜を栽培し、反収200万円の農業の普及するため、日々試行錯誤を続けている。

※写真提供：香川県三豊市

■圃場：2018年に新設した圃場なので、土壌改良の過程を体感することができます。また、大阪農場は水田も併設しており稲作も体験する事ができます。



受講中・卒業後のサポート体制について

アグリイノベーション大学校では、受講生・卒業生の皆さんがご自身の農業との関わり方を描くための様々なサポートを行っております。

当校を運営する株式会社マイファームの知見を活かし、新規就農支援や起業サポートはもちろん、次代に求められている新しい農業のライフスタイルや、多様化する農業との関わり方の提案など、農に関する総合的なサポートをご用意しております。

アグリイノベーション大学校ならではの、学生サポートをいつまでもご活用ください。





受講生・卒業生向けの10大サポート

サポート1

お気軽にご相談ください
事務局サポート



サポート2

畑にかえろう
農場オープンDAY



サポート3

就農・起業サポート
キャリア相談



サポート4

農地を探す・紹介する
農地紹介



サポート5

動画で復習しよう
復習・振替講義



サポート6

「現場からの学び」
視察・販売体験等



サポート7

研修先・転職紹介
非公開求人情報



サポート8

販路サポート
販路・バイヤー紹介



サポート9

初期投資を軽減農
農機械・ハウス貸出



サポート10

農業界ネットワーク
仲間との交流



地域の農業委員会や普及指導員、農業経営アドバイザーなどもあります。物足りなさが強いです。

サポート1

「お気軽にご相談ください」事務局サポート

入学前から受講中、卒業後まで、事務局スタッフにいつでもお気軽にご連絡ください。受講に関する疑問や不安、要望はもちろん、卒業後も多くのご相談をもらっています。アグリノベーション大学校では、1,600人を超える卒業生を輩出しており、同卒業生は、農業生産者やアグリビジネス実践者として国内外を問わず活躍を始めています。昨今では、就農や起業だけでなく、農業をライフスタイルに取り入れる方が増えており、農業の関わり方が多様化しています。ご自身らしい受講スタイルや卒業後の暮らし方を一緒に見つけていきましょう。



サポート 3

「就農・起業サポ

自治体ごとの指導農業士などもありますが農家が兼務をしていることが多く下記のサポートができていません。

・研修相談はもちろん、営農計画書や新規事業計画書の添削はもちろん、マイファームキャリアサポート隊にご相談ください。

新規就農支援や継承、事業立ち上げ、販路拡大、助成金の活用等についてフォローアップします。キャリア面談は無料です。

（年2回まで無料 1回あたり1時間程度・オンライン相談も可）

マイファームサポート隊にご相談ください。現地訪問の場合（技術指導・事業相談コンサル）は要相談となります。

また、個別専任講師によるグループ指導を通じて、卒業後の営農計画／事業計画について具体的なプランニングを行う、ゼミ形式のプログラム（オプション受講）もご用意しています。

※キャリアサポート前にまずは事務局にご相談ください。担当サポーターにおつなぎします。

マイファームキャリアサポート隊



西辻一真
株式会社マイファーム 代表取締役
得意分野：農業界全般、起業



谷 則男
株式会社マイファーム
副社長
得意分野：新規
就農



石原北斗
アグリイノベーション大学校 学長
得意分野：新規就農、技術、海外



浪越隆雅
株式会社マイファーム
専務取締役
得意分野：新規参入、海外



上田悠太
株式会社マイファーム
得意分野：農地関連、自治体調整



武内健次
株式会社マイファーム
得意分野：農産物流通、販売

ここが肝ですが一番の難所になっています。

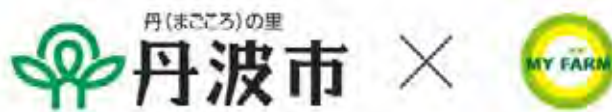
サポート 4

「農地を探す・紹介する」農地紹介

新規就農支援として、当校を運営する株式会社マイファームの農地情報データからマッチする情報を都度ご紹介する場合や、公的な機関での農地を借りる手続き方法や過去事例についてご案内いたします。農地相談は無料です。一緒同行訪問をする場合もあります。自治体への交渉などの際に同席希望の方は、一部有料となります。

※必ずしもご希望に沿えるとは限りませんのでご了承ください。





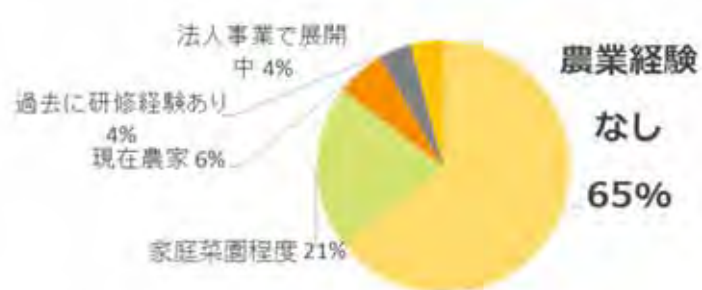


入学をきっかけに新しい働き方・暮らし方へ

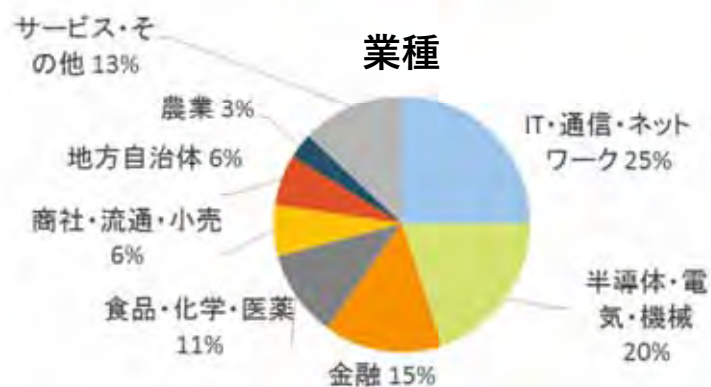
ご入学時には、「農業は未経験」「まだ農業を始めるかどうか決めていない」という方が多く、卒業時にはおよそ4分の1の方が農業をスタートしています。

入学時

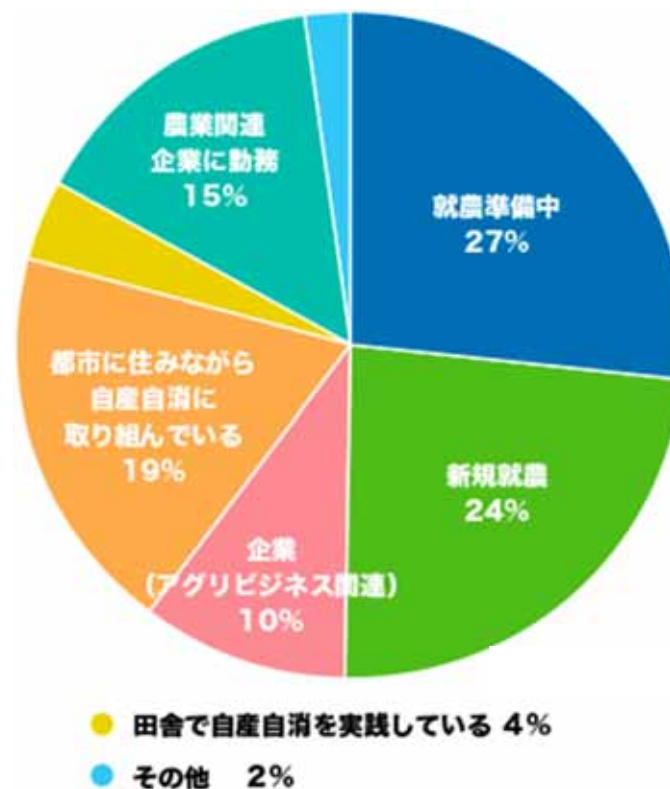
農業経験の有無



業種



卒業後の進路





メディア掲載/受賞

2018年2/24号、2017年2/18号の週刊ダイヤモンドにアグリイノベーション大学校が「農業版MBA」として紹介されました。
また、卒業生の太田さん、宮崎さんが新規就農者の成功例として特集されました。

卒業生が出演！

平成29年度「未来につながる持続可能な農業支援コンクール」にて、アグリイノベーション大学校が農林水産省生産局長賞を受賞しました。



[テレビ]2015年1月19日にTV TOKYO「カンブリア宮殿」にアグリイノベーション大学校が紹介されました。

卒業生が出演！



お問い合わせはこちら／

アグリイノベーション大学校 事務局

TEL : 0120-975-257 (24Hコールセンター)

050-3450-0299 (事務局直通)

MAIL : info@agri-innovation.jp

ADDRESS : 〒600-8841

京都府京都市下京区朱雀正会町1番1号KYOCA会館3階

株式会社マイファーム内

営業時間…AM10:00～PM18:00 (水曜／祝日・夏季／年末年始休暇を除く)



提案事項(まとめ)

農業者を支援する制度の充実

普及指導員、指導農業士等、農業者を支援する制度が多くあるが、以下をはじめとする整理を行い、農業者から見てわかりやすくすべきではないか。

実務的な農業経営に関するアドバイス機能の拡充

本格的な就農に向けて仕事を継続しながら週末等に農業研修を受講する人に対する支援

既存の農業者が学び直しのために研修を受講することに対する支援

認定新規就農者の要件見直し

認定新規就農者の要件について、研修機関の違いによって資金調達等で不公平が生じることがないようにすべきではないか。

実際の声として多数上がっています。

新規就農者への農地の斡旋制度

農地を必要とする人全てに適切な農地が斡旋されるようにすべきではないか。

農地バンク等は規模拡大を目指す農業者向けになっており、新規就農者窓口としての窓口にはなり得ておらず、手探りになっている。